

代 表 質 問



←令和4年度施政方針の詳細に
ついてはこちらをご覧ください



←代表質問の録画映像に
ついてはこちらをご覧ください

(文責は、各質問者)

市長の令和4年度施政方針に対し、 各会派の代表者から質問がありました。

新政の会

新市長就任後初めての施政方針、当初予算編成が示されました。春日部はどう変わるのか、議会も市民の皆さまも大きな期待をもって新市長の手腕を見守っています。さほど代わり映えしない予算編成と見受けられました。そこで、以下伺います。

- ① 施政方針と予算編成に当たり、どこに、どのようにご自身の思いと選挙公約が、どの程度反映されているのか。
- ② 住宅リフォームを実施する際に係る費用の助成を新たに開始とあるが、コロナ対策を理由にするなら、光熱水費などの支援のほうが公平な支援、公平な経済対策ではないか。
- ③ プレミアム率30%のプレミアム付商品券を再度発行するところがあるが、使用できる登録申請が煩雑、換金手続きが面倒くさい等の理由で参加小売店に限られてしまう。小売店どこでも使え、数回使い回しすることで、さらに経済効果があがると思うが、いかがか。
- ④ これまでの人口増加策について一定の効果が表れていると認識していると述べている

が、これまでの政策が間違いなかったと理解しているのか。

○市長

- ① 施政方針については、選挙公約も踏まえ、令和4年度に向けた私の市政運営の決意を述べたもので、特に新型コロナウイルス感染症への対応は、引き続き最優先の課題であると考えています。また、予算編成においても、感染対策や経済対策といった取り組みを最大限反映させるとともに、公約を含め、総合振興計画、3つの重点プロジェクトを中心とした編成としたものです。
- ② 長引くコロナ禍において、市民の皆さまのおうち時間が充実するよう、今回交付される地方創生臨時交付金を活用し、住居の改修を支援し、併せて市内事業者を優先する制度設計として、市内経済の活性化を図るものです。
- ③ 事業実施に当たっては、事業者の視点に立ち、換金や加盟店登録などをできる限り簡素化し、多くの店舗に加盟店登録いただけるよう取り組んでいきたいと思っております。
- ④ 人口動態が社会増に転じたことは、本市がこれまで行ってきた取り組みの一定の効果と認識しています。

前進かすかべ。未来の会

令和4年度は、昨年度から引き続き、新型コロナウイルス感染症対策が重要課題となります。また、市長が就任されて初めての予算審議となりますので施政方針の中から行政のトップである市長の考えを確認するため質問します。

- ① 市長は市民の生命を守るためコロナ対策を最優先の課題と考えていますが、就任からこれまで具体的にどのようなことに取り組んできたのか。
- ② しつかりと対応するとは、現在のコロナ対策の課題はどんなことがあるとお考えか。
- ③ 春日部ブランドづくりの推進について、具体的にはどのような段階を経て推進し、4年度は何から着手するのか。
- ④ シティセールスについて、「私自ら広告塔になる」とはどのようなことをお考えか。

○市長

① 春日部市医師会や薬剤師会との会議に出席し、強固な連携を図りながら、3回目のワクチン接種にスピード感を持って取り組んでいるところであります。また、高齢者施設への新規入所者などに対するPCR

公明党

検査費用の助成や感染状況に応じた注意喚起など、感染拡大防止に向けた取り組みを引き続き行ってまいります。

② ワクチン接種における3回目接種の接種率の向上、さらに5歳から11歳のお子さんの接種体制の確立が当面の課題となっており、医師会とも協議の上、最善を尽くしていきたいと考えています。

③ 8つの魅力など現在の魅力ある地域資源に新たに磨きをかけていくことや、さまざまな取り組みの中から生み出されていくものなど、新たなブランドとなり得る多くの可能性があります。これらをしっかり掘り起こしていくことが重要で、掘り起こした魅力を継続して発信していくことが、シティセールスの推進につながるものと考えています。

④ 地域の継続的な発展のため、地域の魅力を市内外に効果的に売り込む意識を持って日々業務を行うていくことが重要であり、このことを常に心がけ、さまざまな場面で本市の売り込みを行ってまいります。特にふるさと納税、企業誘致については、私が先頭に立ち、市の顔としてセールス、PRに尽力していきます。

ルナ製を打つ交互接種については、安全性・有効性の分かりやすい広報が必要と考えますが、いかがでしょうか。

○ 市長
人との接触が多く、感染拡大している事業所の従事者等への優先的な接種ですが、まずは医療従事者や高齢者施設の従事者、入居者、重症化リスクの高い高齢者を実施した上で、その後速やかに実施していきたくと考えています。

個別接種医療機関の拡充については、ファイザー社製は77の医療機関、モデルナ社製は59の医療機関でワクチン接種を現在実施しており、今後増える見込みです。

モデルナ社製ワクチンの推進ですが、市公式ホームページや公共施設に掲示しているポスターでは、交互接種の安全性やワクチンの効果、今回ワクチンの量が1、2回目接種の半分の量になることや副反応等についてお知らせしています。また、広報かすかべ3月号にモデルナ社製ワクチンについて市民の皆さまに知っていただきたい内容を掲載します。有効性や副反応などの情報については今後も積極的に周知していきます。

次に、個別接種医療機関は77カ所に拡大いただき、医師会の皆さま方のご尽力には大変感謝申し上げます。しかし、大規模接種会場までの交通手段がなく、身近な医療機関での接種を希望する65歳以上の方がまだいらっしゃいます。拡充をお願いしたいと思いますが、拡充予定はあるのかお伺いします。

また、2回目と異なるモデル

日本共産党

① 3回目の接種率が低い理由は

② PCR検査について
③ 自宅療養者・濃厚接触者に対する生活支援・相談体制は
④ 医療センターにおける入院状況は。救急受け入れや手術などは予定どおりか
⑤ 消防の救急体制は

○ 健康保険部長
① 理由の一つとして、1、2回目の接種において報道等で副反応が大きく取り上げられたモデルナを敬遠しているのではないかと考えられます。

② 介護施設職員は、多くの事業所で、日本財団が実施している無料のPCR検査事業を活用し、毎週検査を行っています。障害福祉サービス事業所や障害児通所支援事業所の職員は、検査を希望する施設に対し、県が無償でPCR検査キットを2週間に1回送付しています。保育施設の職員においては、依頼に応じて、抗原簡易キットを配付しています。小中学校についても、配布した抗原簡易キットを教職員が活用した学校もあります。

③ 自宅療養者支援に必要な情報については、保健所や県の調整後に提供され、市では情報を得た日に発送・配送手配を行っており、遅滞なくお届けするよう努めています。市の配食サービスは、幅広い対象者に対応した食品セットのほか、急な不足にも対応できるようにトイレットペーパー・ごみ袋等の日用品も配送しています。

自宅療養者の対応は保健所が担うことになっていますが、市に相談があった場合には丁寧に対応し、可能な範囲での助言や、必要に応じ、適切に宿泊・自宅療養者支援センターや保健所へつないでいます。

○ 病院事務部長
④ 新型コロナウイルスの新規入院患者は、確保病床29床に対し、最大で26人いました。入院や手術については、制限することなく予定どおり行っています。

○ 消防長
⑤ 傷病者が、濃厚接触者等である場合を疑い例として、医療機関への受け入れ要請をしています。搬送困難として、照会回数が最も多かった回数は36回で、現場滞在時間が最も長かった時間は4時間31分です。

また、2回目と異なるモデル